

謹 賀 新 年



富士見町議会議長

植松米作

新年明けましておめでとございます。

昨年は、「よい年を」と願いつつも、記録的な台風や新潟中越地震等未曾有の災害があり筆舌に尽くし難いものがありました。しかし、富士見町では、富士見駅が開駅百周年を迎えました。首都圏も近くなり、時代とともにこの富士見高原も世に知られる様になり、産業や文化も発展して参りました。この永い歴史を想い、更に雄大無窮の夢を馳せました。

今の地方自治は、自分達の力で、自分の地域を活かした個性ある自立の出来るまちを造る分権社会へと転換する時代です。

今年、富士見町が誕生して50周年を迎えます。これを機会に、この輝かしい50年の歴史を貴び、将来、富士見町に「住みたい。住んでよかった。」となるまちづくりを町民と協働して、「自然、環境、創造」の三つを柱に新しく出発したいものです。先ず一つは、町、集落、町民がそれぞれ役割と仕事をもち相互に補完し合い、助け合う社会を造りましょう。もう一つは、スロータウン構想といって「ゆっくり」という事ではなく、我が町、富士見にある資源をもう一度見直し、それを磨き、工夫して、新しいものを造り、暮しを豊かにしましょう。

本年が町民の皆様にも実り多い素晴らしい一年となります様、心からお祈り申し上げます。